

# 農業を始めたいあなたを応援します！

当センターでは、新たに農業に取り組もうとする意欲のある青年や中高年層の就農を支援するため、就農に関する情報提供、農業および経営技術を習得するための研修先の紹介、就農準備、経営開始に関連する融資制度の紹介などの就農相談を行っています。



## 沖縄県新規就農相談センター (沖縄県農業経営・就農支援センター)

〒901-1112 沖縄県島尻郡南風原町本部453-3 土地改良会館 3階  
TEL:098-882-6801 FAX:098-882-6818 E-mail:shinkisyuno@onk.or.jp



令和7年度

新規就農事例集

公益財団法人沖縄県農業振興公社  
(沖縄県新規就農相談センター)  
(沖縄県農業経営・就農支援センター)

## はじめに

公益財団法人沖縄県農業振興公社では、農業を始めるきっかけとしての就農相談及び農畜産物の生産技術等を身につけるための就農研修の紹介、就農関連情報の収集・提供、就農相談会の開催等、就農につながるサポートを行っています。

例年、「沖縄特有の農作物を栽培したい」や「安心安全な農作物を消費者へ提供したい」等の動機による幅広い世代の方から相談を受けています。

本書は、ここ最近実際に就農を実現した方の就農への思いや就農に至るプロセスを紹介した事例集です。併せて、「就農へのみちすじ」や、就農を支援する各種制度・関係機関等の情報を掲載しています。

農業に関心を持ち、新たに就農を目指す皆様の手引き書として、ご活用ください。

結びに、ご自身の就農について貴重な情報をご提供頂いた就農者の皆様、ならびに本書の編集に当たって多大なご協力をいただきました関係機関・団体等の皆様に感謝を申し上げます。

令和8年1月

(公財)沖縄県農業振興公社  
理事長 森 英勇

# 目次

	糸満市 ヤマシロ ミカ <b>山城 巨佳 さん</b>	<b>1</b> ページ
	南城市 マキ カノ コ <b>牧 可乃子 さん</b>	<b>3</b> ページ
	大宜味村 テルヤ ヤスシ <b>照屋 保志 さん</b>	<b>5</b> ページ
	今帰仁村 セトダ アユミ <b>瀬戸田 亜祐美 さん</b>	<b>7</b> ページ
	宮古島市 ニシカワ タケシ サヤカ <b>西川 健さん・紗香さん</b>	<b>9</b> ページ
	石垣市 トミカワ トモノブ <b>富川 朝信 さん</b>	<b>11</b> ページ

就農までのみちすじ .....	<b>13</b> ページ
上手に就農する10カ条 .....	<b>14</b> ページ
写真に見る新規就農相談会 .....	<b>17</b> ページ
農業後継者育成確保事業紹介 .....	<b>19</b> ページ
就農支援に関する各関係機関 .....	<b>22</b> ページ
沖縄県産農林水産物産地マップ .....	<b>23</b> ページ

# 農業から広がる新たな挑戦！

～「老若男女、農業でつながる  
コミュニティー施設づくりを目指して」～

ヤマシロ ミカ  
糸満市北波平 山城 巨佳さん

## プロフィール

- うるま市石川出身。  
広島県の高校を卒業後、福岡県の第一薬科大学に進学。平成13年大学卒業後、沖縄に帰り南部・中部の薬局で薬剤師として働く。平成25年5月、独立して糸満市内に薬局を開業。

## 農業を始めたきっかけ

- 令和元年末から始まったコロナ禍で薬局を訪れる患者が減り、薬剤師のみの勤務から他の活動として農業を考えるようになった。農業は20代の頃から関心を持っていた。農業と絡めた高齢者、子供達の交流を図り、両方が元気になる施設を造りたいと思っていた。
- 薬局を営みながら近くの農家で1年間パッションフルーツ栽培を習う。その後、農家の勧めで西原町での新規就農相談会へ参加した際、相談会場で師匠となる研修受入農家と巡り会う。
- 研修受入農家の圃場視察を数回行い、週3回のアルバイト勤務から始まり、3年間の勤務を経て、農業後継者育成対策事業で1年間の研修を受けることが出来た。  
研修終了後、令和7年4月、独立就農を開始。

## 就農準備

- ①技術の確保・・・パッションフルーツ農家で1年間勤務。ハーブ、野菜類生産農家での3カ年間勤務・研修で施設野菜、露地野菜の栽培管理を習得する。
- ②資金の確保・・・青年等就農資金、JA営農資金、経営開始資金の活用はなし。  
今後はハウスの増設、管理・出荷施設の設置に公的資金の借入を検討している。
- ③農地の確保・・・研修先農家の紹介で43a(1,300坪)の農地を賃貸。

## 経営の概況

- ①就農地・・・糸満市北波平
- ②経営作物・・・バナナ、ハラペーニョ、パッションフルーツ、バジル等
- ③面積・・・露地30a(900坪)  
ハウス13a(400坪)
- ④販売先・・・JA、県内卸売業者
- ⑤家族構成・・・3人(本人、子供)
- ⑥労働力・・・2名(本人、父)
- ⑦就農年月・・・令和7年4月



## 研修先での交流会

## これまでを振り返って

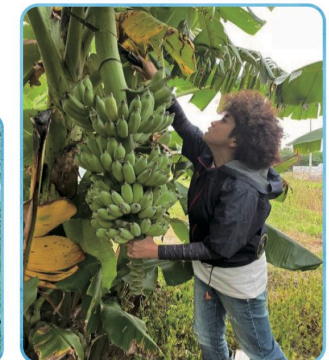
- 苦勞した点  
就農して日も浅く、これまで家族、周囲の方に心強いサポートを受け、果樹、野菜の栽培技術や農業用機械の操作等を習得することができた。(大きな苦勞は感じていない。)
- 良かった点  
・研修受入農家、農業関係機関、役場や地域組の人々と出会えたこと。たくさんの方と出会い、貴重なアドバイスや激励もいただき、前へ進むことが出来た。

## 今後の農業経営の目標

- 高齢者や子供達が、農業で交流を図り、生きがい、やりがいの持てる施設を設け、地域貢献したい。
- 農業に取り組むことで農業の大切さ、魅力を伝えていく
- 女性農業者が継続して営農できる体制・組織づくり。

## 新規就農者へのアドバイス

- 初心忘れるべからず！
- 日々、栽培・経営に必要な情報収集に努める。
- 人との関わり、出会いを大切に！



上：研修圃場での作業風景 下：自営圃場での活動の様子



## 「好き」を仕事に。ビカクシダから始まった農業 ～着生植物で叶える新しい農業のかたち～ 南城市・牧 可乃子さん

### プロフィール

出身は神奈川県。人生の半分は海外で生活していました。平成29年に仕事の関係で沖縄に移住しました。就農前は農業とまったく関係のない外資系企業に勤務。夫と二人で、観葉植物をメインに生産販売しております。

### 農業を始めたきっかけ

- ① **ビカクシダとの出会い**  
令和元年のコロナ禍に、夫と趣味でビカクシダの栽培を開始。インテリアやアートとして楽しめる姿に魅了されました。
- ② **環境の変化**  
栽培数の増加とリモート勤務をきっかけに南城市へ拠点を移動。インテリアやアートとして楽しめる姿に魅了されました。未使用のハウスや農地が多い環境を目の当たりにして、本格栽培を意識するようになりました。
- ③ **就農の決断**  
働き方を見直し、令和4年にリタイア。好きなビカクシダの栽培を仕事にするため就農しました。

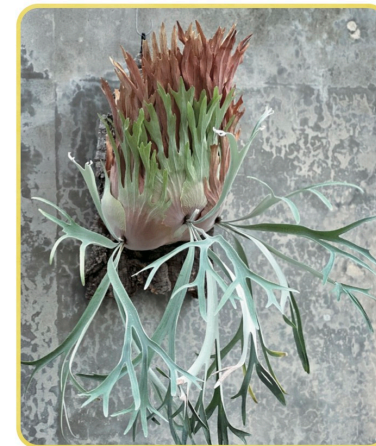


### 就農準備

- ① **技術の確保**  
ビカクシダの栽培は確立された技術が少ないため、海外の生産情報や着生植物・ラン農家から学びながら試行錯誤を重ねてきました。現在もより良い栽培方法を目指し、日々学び続けています。
- ② **農地の確保**  
農家でなければ農地取得が難しい現実に直面し、自ら情報収集と交渉を実施。未使用の鉄骨ハウスを探し続け、約8か月後に理想的な施設と出会い借用が実現しました。
- ③ **資金の確保**  
自己資金を活用しつつ新規就農者向け支援制度も取り入れ、初期投資と運転資金を確保しました。

### 経営の概況

- ① 就農地 …… 南城市
- ② 経営作目 …… ビカクシダ、シダ、ラン、プロメリア、その他観葉植物
- ③ 面積 …… 鉄骨ハウス 15a
- ④ 販売先 …… ネット販売、イベント出店、直販
- ⑤ 家族構成 …… 3人(夫婦、子供)
- ⑥ 労働力 …… 2名(本人+夫)
- ⑦ 就農年月 …… 令和5年12月



### これまでを振り返って

#### ● 苦労した点

- ① **ハウス整備**  
借りたハウスは老朽化が進み、そのままでは使用できない状態でした。修繕費の問題もあり、営農しながら段階的に整備を進めました。
- ② **認定新規就農者取得**  
ビカクシダでの就農は前例がなく、認定が難しい状況でした。先輩農家の助言を受けて資料を整え、約3か月かけて新規就農認定を取得しました。
- ③ **害虫対策**  
栽培環境の変化により害虫被害が発生、防除方法の確立に時間を要しました。

#### ● 良かった点

- ① **自分らしい働き方**  
経営者として時間を柔軟に使えるようになり、仕事と家庭を両立できる働き方が実現しました。
- ② **やりがいと成長**  
好きなビカクシダを通してお客様の反応を直接感じられ、大きなやりがいがあります。栽培技術も日々向上しています。
- ③ **地域とのつながり**  
農業関連の仲間や地域の方々との交流が生まれ、助け合いを通して生活がより豊かになりました。

### 今後の農業経営の目標

ハウスを部分的に修繕しながら生産量と品質の向上を図り、安定した生産体制の確立を目指します。あわせて培養施設を増設し、原価削減にも取り組みます。将来的にはオリジナル品種の作出や、ビカクシダ以外の着生植物の生産にも挑戦し、事業の幅を広げていきたいと考えています。

### 新規就農者へのアドバイス

- ① **好きという気持ちと学び続ける姿勢**  
農業は地道な作業の積み重ね。興味と情熱を持ち、学び続けることが継続につながります。
- ② **市場を見据えた柔軟な経営**  
競合の少ない分野を見極め、需要の変化に柔軟に対応することが大切です。
- ③ **人とのつながり**  
お客様や地域、仲間との信頼関係が、就農を支える大きな力になります。  
～最後に～ 事前準備と情報収集が将来の成果につながります。





好きな仲間と好きな時間に  
がんばる豊かな農業を目指して

テルヤ ヤスシ  
大宜味村 照屋 保志さん

## プロフィール

大宜味村出身。高校卒業後、沖縄県立農業大学校に進学。卒業後はJAおきなわに就職し、約8年間花卉、野菜の指導業務に従事する。

令和3年に周りの支援を受けながら農家として独立する。現在ではビニールハウス約1,500坪、露地約2,000坪で野菜等の栽培を行っている。



収穫できた小玉すいか

## 農業を始めたきっかけ

- JA勤務時代、地元である大宜味村に昔から知っている先輩や同級生などの若い生産者が増えた。最初のうちは地元の仲間に補助事業やいろいろな栽培品目の提案ができることにやりがいを感じていたが、自分も農業に挑戦したいと考えるようになった。
- 雇われていて安定した所得があることも大事だが、一度きりの人生、やりたいことに挑戦して後悔せずに一生を終えたいと感じ、独立を決意した。

## 就農準備

- ①**技術の確保**・・・農業大学校やJAでの勤務時代で培った経験。やりたい品目ができてからは、生産者に直談判してアルバイトさせてもらうようお願いして1作を経験させてもらって栽培のイメージをつかんだ。
- ②**資金の確保**・・・就農直後はJA勤めの際の貯蓄を切り崩して生活と経営を行った。就農後は、次世代人材投資事業（経営開始型）を活用し営農を開始した。
- ③**農地の確保**・・・地元の先輩に相談したら、耕作放棄地を紹介された。紹介された耕作放棄地は樹木が繁茂していたため重機を入れて伐開整地した。

## 経営の概況

- ①就農地 …… 大宜味村根路銘地区
- ②経営作目 …… すいか、ゴーヤー
- ③面積 …… 施設（ハウス）50a、露地67a
- ④販売先 …… JA、県内市場、直売所、ネット
- ⑤家族構成 …… 3名（夫婦、子供）
- ⑥労働力 …… 3名（本人+妻+臨時外国人）
- ⑦就農年月 …… 令和3年5月



一貫支援事業で導入したハウス

## これまでを振り返って

### ●苦労した点

- ①すぐに土地は見つかったものの、耕作可能な状態にするのに多くの時間とお金を費やした。
- ②すいかやゴーヤーの栽培を他市町村から習って始めたが、大宜味村と全く異なる土質や品種ごとの栽培や収穫の仕方の違いを理解し習得することに苦労した。

### ●良かった点

- ①農業次世代人材投資事業（経営開始型）交付資金と別に一貫支援事業でハウスを導入できたため、初期から施設栽培を行うことができた。
- ②周囲の仲間や先輩農家さん、役場の担当者さんのサポートもあり、スムーズに就農できた
- ③自分の時間を自由に使えるようになり、生活にゆとりが生まれた。
- ④好きな仲間との時間が増え、日々の幸福感が高まった。

## 今後の農業経営の目標

- ①すいか、ゴーヤーの反収増加
- ②直売率（ファン）の向上
- ③輪作品目の試験栽培を行い、無駄のない輪作の計画実現
- ④受けた恩を他の新規就農希望者にも送る恩送りの実施
- ⑤大宜味村の特産品であるシークワサーの新規導入

## 新規就農希望者へのアドバイス

- 就農は会社設立と同じ心構えで始めましょう。補助があるという理由で初めると痛い目にあります。
- 絶えず勉強しよう！栽培の勉強はもちろん、お金や人付き合いの勉強もやると人生楽しくなります。
- 十分な資金をもって就農しましょう。計画通りに利益は出ないものと考えた方がいいです。



耕作放棄地の抜開を手伝ってくれた仲間たちがいた  
おかげで農業を始められました。今でも感謝しています。

# 県外から移住しての農業経営

～環境配慮型農家をめざし、  
沖縄適地適作品目で勝負～



今帰仁村 セトダアユミ 瀬戸田 亜祐美さん

## プロフィール

- ・兵庫県出身。大学卒業後は上海や大阪で会社勤めを経て、平成29年に農業に転身。
- ・沖縄果樹に魅了され移住し、平成31年に沖縄県立農業大学校（果樹コース・短期養成科）に入学。農業大学校卒業後は、今帰仁村で独立就農。
- ・ていーだふあーむ（屋号）では、パインアップル、バナナ、ウコン、トルコギキョウ等の作物を栽培しながら養蜂や加工品（ドライフルーツ）にも取り組んでいる。
- ・就農から3年間は減農薬栽培、現在は有機農業へ取組中。

## 農業を始めたきっかけ

- ・幼少期から海外の野生動物に興味があり保護活動について勉強していた。学生時代にJICAやボランティア団体の方が、農業や教育分野で海外の動物保護区周辺で活躍される姿を目にすることがあり、いつか自分も農業で役に立ちたいと考えるようになっていた。
- ・会社員からの転職には周囲からの反対もありましたが、腹をくくり、自分のやりたいことを重視した道を選択しました。令和3年2月、青年等就農計画の認定を受けて、現在就農5年目。

## 就農準備

- ①農地の確保
  - ・ボランティア先で出会った方からの紹介で、住まいと農地1,500坪をスムーズに確保できた。
- ②技術の確保
  - ・農業大学校入学前、入学後も農家さんへのボランティア活動を継続している。その中で出会った方から指導頂いている。農業をスタートしてからは、近隣農家の方からサポートを受けている。
- ③資金・施設の確保
  - ・資金は農業次世代人材投資事業（準備型）1年、同（経営開始型）5年を活用。
  - ・選果場・農業用水・電機施設は初年度に設置した。農業用小型機械はリース、トラクターなどの大型機械は作業委託している。
- ④生活費の確保
  - ・農産物販売収入を主体にしている。

## 経営の概況

- ①就農地 …… 今帰仁村（名護市、本部町）
- ②経営作目 …… パインアップル50a（1,500坪）  
トルコギキョウ15a（450坪）  
バナナ20a（600坪）養蜂（15箱）
- ③面積 …… 80a/露地60a、ハウス20a
- ④販売先 …… 個人販売、ネット販売、JA、直売所、店舗
- ⑤労働力 …… 3名（本人、雇用2名）
- ⑥就農年月 …… 令和3年2月



トルコギキョウの収穫

## これまでを振り返って

- 苦勞した点
  - ・新規品目の初年度は、栽培技術不足、作業の不慣れ、販売先の確保が不十分であったため、休みが取れなかった。
  - ・2年目以降になると、栽培管理作業は効率的にできるようになっていった。
- 良かった点
  - ・就農直後は作業も少なく、インフラ整備（倉庫・休憩所・水道・電機）に注力した。おかげで収量が増えた現在も作業場所に困ることはない。
  - ・一人農業で畑にこもりつきりになると、視野も狭くなり、刺激も受けにくくなりがちにならないように注意している。農家のつながり、仲間づくりは、新たな発見にもつながると感じている。

## 今後の農業経営の目標

- ・チームで労働力を確保して規模拡大を図り、売り先を確保したい。
- ・観光産業と連携した農業スタイルにシフトして行きたい。
- ・有機農産物の付加価値を理解する販売先を確保したい。（栽培技術向上には自己研鑽以外に仲間づくり、販路確保にはチーム体制が不可欠と考える）

## 新規就農希望者へのアドバイス

- ・就農には栽培技術だけでなく、社会人マナー、経営能力、人間力が必要。農業はいつでもどこでもスタートできるので、まずは経営者になれる能力を身につけるという進み方をお勧めします。
- ・栽培品目は、自分のやりたいを優先しすぎない、利益・技術・販売が大事です。
- ・成功事例だけではなく、失敗事例からも学び、失敗を回避しましょう。
- ・農業の稼ぎ方は、栽培だけではない。自分にあった農業人生を描いて下さい。



主な栽培品目（ブロッコリー、トルコギキョウ、スイートコーン、パインアップル、バナナ、養蜂）

## 環境に優しいマンゴー栽培に取り組み とろける美味しさ「夏小紅」の魅力を伝えたい



宮古島市  
ニシ カワ タケシ  
西川 健さん・紗香さん

### 経営の概況

- ①就農地……宮古島市下地川満
- ②経営作目……マンゴー (10a)、オクラ (20a)  
かぼちゃ (20a)、タマネギ (20a)
- ③経営耕地面積…50a (ハウス10a、露地：40a)
- ④販売先……JA、ネット販売、  
ファーマーズマーケット、  
卸売市場、ふるさと納税返礼品
- ⑤家族構成……3人 (夫婦、子供)
- ⑥労働力……1人 (本人)
- ⑦就農年月……令和4年7月



自慢のマンゴー夏小紅

### これまでを振り返って

#### ●苦労した点

農地確保や営農計画確立などの就農準備にとっても苦労したが、宮古島市農政課や宮古農業改良普及課等に随時相談を行っていたことから関係機関の支援も得られ、無事に独立することが出来た。

#### ●良かった点

農業をやっている一番うれしいことは、丹精込めて育てた作物を食べた人から「美味しい」との言葉をいただいたとき。その言葉がとても励みになっている。

### 今後の農業経営の目標

- ・マンゴーハウスを増棟して、「夏小紅」の栽培を拡大すること。
- ・認定新規就農者の次のステップとして、認定農業者になり規模拡大を図る。
- ・担い手育成のため、就農希望者を受け入れる。

### 新規就農希望者へのアドバイス

- ・好きな品目を選ぶことがとても大切です。
- ・技術習得するには、農業大学校や先進農家で研修するとよいでしょう。
- ・就農するにあたっては、新規就農関連事業の情報を収集すること。



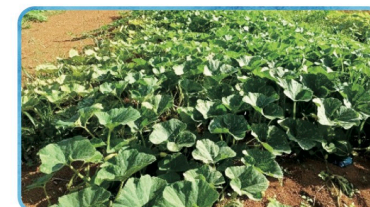
宮古島マンゴー研究クラブ試食会



オクラ栽培



タマネギ栽培



かぼちゃ栽培

### プロフィール

高知県出身。大阪府の貿易会社に21年勤務。平成30年度に沖縄県農業次世代人材投資事業準備型の給付を受け、沖縄県立農業大学校（短期養成科、園芸課程果樹専攻）で1年間学ぶ。平成31年3月に宮古島市へ移住し、マンゴー農園で約4年間雇用就農。青年等就農計画の認定を受け独立就農。令和6年6月にマンゴーでエコファーマーの認定を受ける。令和6年度宮古島マンゴー研究クラブ会長就任。現在、就農4年目

### 農業を始めたきっかけ

貿易会社で世界中の様々な青果物を取り扱う中、農業に興味を抱く。いつかは沖縄県でマンゴー農家になりたいとの長年の思いを実現するため、40歳を目前に農業の道へ進むことになった。

### 就農準備

- ①農地の確保：雇用就農先から農地50a(マンゴーハウス5a込み)を購入
- ②技術の確保：沖縄県立農業大学校、雇用就農先で栽培技術を習得
- ③生活を支えた補助金等収入：新規畑人資金支援事業（経営開始資金）を3年間活用、  
宮古島市補助事業によりマンゴーハウス5aを導入

## 牧草地4haで母牛60頭の 繁殖経営を目指したい



～島の資源を有効活用した繁殖経営～

石垣市  
トミカワ トモノブ  
富川 朝信さん

### プロフィール

八重山農林高校から沖縄県立農業大学の肉用牛コースへ進んだ。農大卒業後は就農準備資金を活用して令和3年4月から令和4年10月まで熊本県の畜産農家（繁殖牛経営）のもとで研修を受ける。終了後、石垣島に帰り就農する。

### 農業を始めたきっかけ

- 幼い頃から祖父、両親の牛の飼育管理を手伝っており、将来自分の育てた牛を競りに出したいと思っていた。また、トラクターの運転、農業機械の操作に興味があった。
- 熊本県での研修を終えて石垣島に戻り、石垣市役所、八重山農林水産振興センター農業改良普及課（以下普及課）で青年等就農認定制度、新規畑人資金支援事業（経営開始資金）の説明を受け、認定新規就農者を目指すことにした。令和6年に石垣市の認定新規就農者になり、経営開始資金を受給している。

### 就農準備

- ①牛舎・草地の確保：父親の牛舎の一角、草地(2ha)を使用賃借するとともに、母牛5頭を自身名義に変更し、就農を開始した。
- ②技術の確保：祖父、両親の手伝い、農大での2年間の研修、熊本県での1年半の現地研修を通して、繁殖牛の飼養管理、牧草管理、経営管理等を学んだ。人工授精師の資格も取得した。
- ③資金の確保：就農準備資金、経営開始資金の交付を受けている。

### 経営の概況

- ①就農地 …… 石垣市宇新川
- ②経営作目 …… 黒毛和牛繁殖経営  
(母牛6頭、子牛3頭)
- ③販売先 …… 八重山家畜市場
- ④家族構成 …… 本人・両親・姉
- ⑤労働力 …… 本人1名 従業員なし
- ⑥就農年月 …… 令和5年7月に親名義の母牛を自身の名義に変更し、就農を開始した。令和6年6月に石垣市の青年等就農計画認定を受ける。



飼育牛舎

### これまでを振り返って

#### ●苦労した点

- ①就農開始から約2年間は子牛価格が低迷し飼料費の確保等に苦労した。また、資金償還計画の目途がつかず、計画的な増頭が進まなかった。
- ②試行錯誤を繰り返しながら、子牛の飼養管理に取り組んでいる。
- ③品質の高い自給粗飼料の周年確保を目指しているが、十分な量が確保出来ていない。

#### ●良かった点

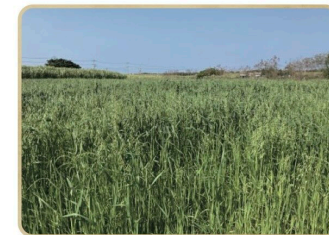
- ①祖父、両親を通して飼養管理、牧草管理、機械操作等の現場体験が出来るなど、学ぶ環境に恵まれていた。
- ②普及課の指導を定期的に受け、飼料の給与量、給与方法の見直しを行っている。
- ③地域の水稲生産農家と繋がりができて、粗飼料のWCS、稲わらを集めることが出来ている。

### 今後の目標

- ①将来は家族の協力のもと牧草地を4haまで拡大して、母牛60頭の繁殖経営を目指している。
- ②普及課、水稲生産農家と連携しながら、高品質自給粗飼料の周年安定確保を目指す。
- ③計画的に母牛の更新を行うとともに、農業制度資金等を活用し増頭をはかる。

### 新規就農希望者へのアドバイス

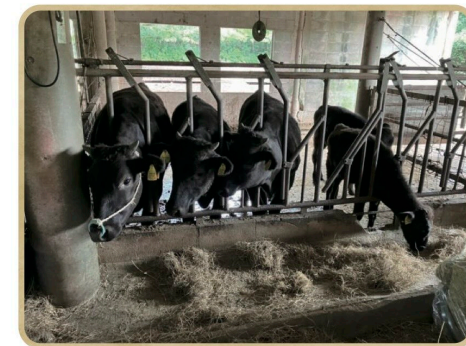
- ①先輩の話を聞いて自分の環境に合わせた取り組みを行う。
- ②就農や作物栽培管理、市場情報は、石垣島の農業関係機関である市町村役場、普及課、競り市場を活用し、自ら取りに行くようにする。
- ③農業機械の整備、修理技術を習得するようにする。



寒地型牧草の栽培状況

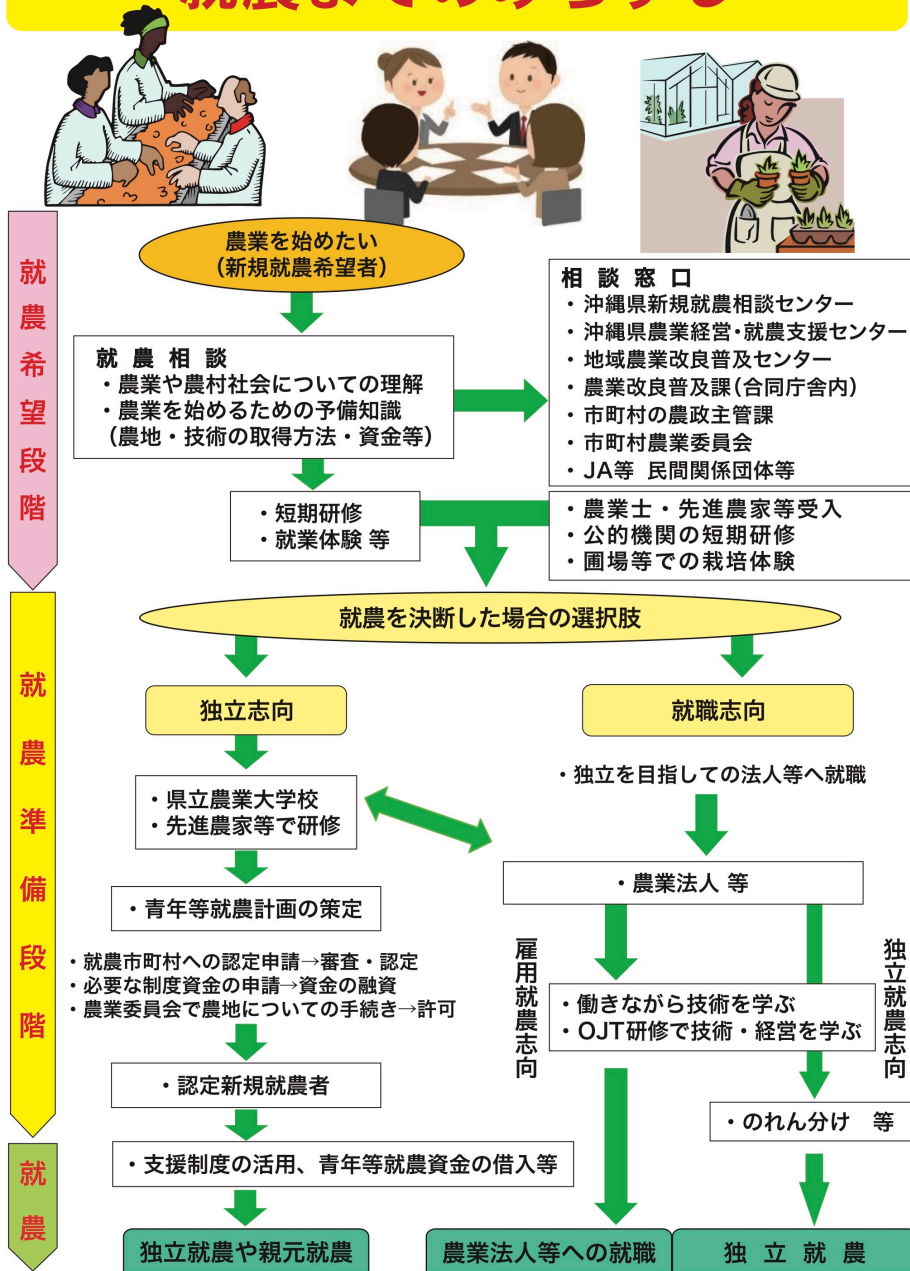


普及課による指導



子牛の様子

# 就農までのみちすじ



# 上手に就農する10カ条

## (1) 自己責任、自己管理が基本!

農業経営においては、農作物の生産だけでなく、収支計算から販売まで自己責任で行うことが大原則です。

~~ 新規就農者からのアドバイス ~~

- ◎農業は色々な努力と想い、技術と総合力が必要。農業にどれだけの魅力を感じられるか、それが強くないとつらくなってしまいます。
- ◎汗を流して、自己管理と無理、むら、無駄のないタイトな経営感覚が求められる。



## (2) 明確な目標、確たる意志を持つこと!

何事も「はじめに目標ありき」です。実現可能な経営目標を立て、確たる意志のもとで、その実現に向けてステップアップすることです。

~~ 新規就農者からのアドバイス ~~

- ◎就農前に綿密な経営計画、生活設計を立てる。自分の目指す経営スタイルの農家等を訪ねて調査する。



## (3) 技術・経営管理能力の取得

就農に先立ち、自分の農業技術力や経営管理能力を磨いておくこと。この場合、研修施設での実践研修を積むこと。(県立農大、公的機関、農業法人等を活用)

- ★県立農業大学校(2カ年)  
園芸課程(野菜専攻・花き専攻・果樹専攻) 畜産課程(肉用牛専攻)
- ★県立農業大学校(短期養成1カ年)  
園芸課程(野菜専攻・花き専攻・果樹専攻) 畜産課程(肉用牛専攻)
- ★農業改良普及センター(中部・南部)  
農林水産振興センター農業改良普及課(北部・宮古・八重山)  
新規就農支援講座、専門講座
- ★農業者(指導農業士、女性農業士等)  
プロ農家の技術・経営手法・地域慣習を学ぶ。
- ★市町村農業後継者育成施設(宜野座村)  
指導員による実践研修
- ★農業生産法人、JA、花卉農協の研修施設等  
就職等により農業技術・経営のノウハウを習得



#### (4) 農業・農村の実情を把握すること！

農業とはどのような産業なのか。農村社会やその実情(生活や習慣)はいかなるものか等の把握が必要です。

～～ 新規就農者からのアドバイス ～～

- ◎地域のことは地域に習え。
- ◎地域でやっている農業をまず尊重せよ。



#### (5) 地域選定と地域の合意に努めること！

地域の選択は、自分の農業経営が最適か否かも当然ですが、家族の日常生活、子供の教育等、総合的に考える必要があります。加えて、その地域が新規就農者を快く受け入れてくれるのかどうかも重要な要素となります。就農までに市町村等を通じて、地域の意思疎通、合意形成に努めましょう。

～～ 新規就農者からのアドバイス ～～

- ◎新規就農者が頑張れるのは、温かく受け入れてくれた地域の皆さんのおかげだということを忘れてはいけない。
- ◎とにかく地域を頼ること。行政、JAに甘えてしまえといたい。経験はないから、言われたことをその通りやるのが第一。
- ◎地域に溶け込み、近隣の農家と支え合って暮らしていくことが大事。
- ◎農業は繋がりの産業。地域コミュニティを大切に、両立させること。周りから助けてもらっている、支えてもらっていることへの感謝を忘れない。
- ◎相手を尊重することで良い人間関係が生まれる。地域住民と馴染んでいくことが大切。



#### (6) 家族の理解と同意を得よう！

就農するにあたり、家族の同意はとても大切です。もしかしたら住居の移転もあるかもしれません。農業経営は家族の協力がないと成り立ちにくいものです。

～～ 新規就農者からのアドバイス ～～

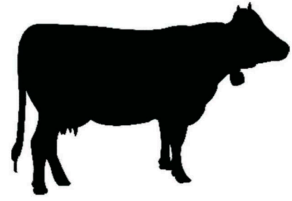
- ◎家族の理解と最低限の準備資金が必要。
- ◎子供の教育の面でも都会とは異なる。
- ◎生活や農業面について、リスクコミュニケーションを行うことは大切。



#### (7) 農地取得などの経営基盤をつくろう！

農地がないと農業は営めません。農地取得や農地賃貸は、就農先の市町村農業委員会に相談しましょう。

★(公財)沖縄県農業振興公社は、沖縄県知事より農地中間管理機構に指定されており、地域計画に基づく農地の貸し借りの仲介役を担っています。



#### (8) 住居を確保しよう！

住居は農地の近隣に確保することが望ましいです。就農先の選定や地域の合意により情報が得られます。借家も含め、地元の協力を得ましょう。

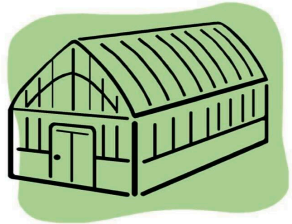
また、県内外を問わず就農先の市町村の農業担当課・移住担当課へ問い合わせましょう。

#### (9) 生活・就農に必要な資金を確保しよう！

農業は準備段階から多額の資金が必要です。それには、直接農業経営に要する運転資金のほか、研修、農地や住居の確保、農業機械の購入、生活資金等です。全国農業会議所の調べでは、約1,500万円～1,700万円との報告もあります。

～～ 新規就農者からのアドバイス ～～

- ◎しっかりと自己資金を貯めておく必要がある。農業は体が資本、健康な体を保つこと。ビジネスという感覚が大切です。



#### (10) 各種施策・制度を活用しよう！

新規に就農するものに対しては、就農準備、就農時の支援、就農後の経営支援のため、各種の施策・制度があります。公的指導機関、市町村、民間団体、外郭団体等で相談や情報収集を行い、有効に活用すれば、初期投資の軽減にも繋がります。

- ★青年等就農資金
- ★農地中間管理機構(農地の貸借手続き)
- ★新規畑人資金支援事業(就農準備資金・経営開始資金)
- ★雇用就農資金(農業生産法人等にて研修)
- ★沖縄県農業後継者育成確保事業
- ★新規就農者支援事業(沖縄県経営発展支援事業)
- ★農業制度資金等



## 沖縄県新規就農相談会開催要領（年2回開催）

### 1 目的

本県農業を担う新たな人材を確保するため、「沖縄県農でグッジョブ推進方針」を踏まえ新たに農業開始を希望する方や、農業法人等へ就職を希望する方を対象に、必要な情報の提供やアドバイス、農業法人等への就職マッチングを行うために開催します。

2 主催：沖縄県新規就農相談センター（(公財)沖縄県農業振興公社、(一社)沖縄県農業会議）

3 共催：沖縄県、沖縄県農業経営・就農支援センター

4 日時：年2回（7月・11月予定）

5 対象者：（参加者）

県内で新たに就農を希望する者や農業法人等に就職を希望する者

6 参加料：無料（事前申込不要）

### 7 内容

#### (1)新規就農相談会

##### ①研修・就農相談対応者

沖縄県営農支援課、沖縄県農業振興公社、沖縄県農業会議、沖縄県立農業大学校、農業改良普及センター・農業改良普及課・JAおきなわ、沖縄県酪農農業協同組合、沖縄県花卉園芸農業協同組合、市町村・農業委員会、沖縄県農業士等連絡協議会等

##### ②農業法人就業・研修相談対応者

県内で求人・研修受入予定の農業法人等

#### (2)新規就農セミナー

県内で新規就農した方による体験談の事例発表

## 令和7年度 沖縄県新規就農相談会の様子

### 就農相談コーナー



#### 来場者の声：

- ・ SNSを活用して、農業への関心をたくさん持ってほしい。
- ・ 様々な情報を聞けてとても役に立ちました。

農業を始めたいあなたを応援します

予約不要  
参加無料  
入退室自由

第27回（令和7年度第1回）  
沖縄県新規就農相談会

日時 7/27 12:00～16:00 (15:30 受付終了)  
会場 南風原町立中央公民館 黄金ホール  
(住所 南風原町字藤原武 236番地)

農業の関係機関・団体等が一堂に会する相談会です！

- 農業をやってみたいけど何から始めればいいの？ → さまざまなことをお話しした方が分かりやすいです。相談員が個別にアドバイスさせていただきます。
- 農業の収入や経営を学ぶところってあるのかな → 知識や技術を身に付けられる関係機関や農業法人等も参加予定です。
- 補助金や融資に関する支援等について知りたいです → 農業に関する補助金や融資等のご相談ができる関係機関も参加予定です。
- すでに就農したい人がいるから実際に就農したい人のサポートがほしいです → 一人から農業を始めた先輩就農者の事例発表が行われます。

当日のスケジュール等については、裏面をご覧ください。

お問い合わせ  
(公財)沖縄県農業振興公社 TEL.098-882-6801  
沖縄県新規就農相談センターでは、個別就農相談を受け付けております。

主催：沖縄県新規就農相談センター（(公財)沖縄県農業振興公社（一社）沖縄県農業会議）  
共催：沖縄県、沖縄県農業経営・就農支援センター

第28回(令和7年度第2回)沖縄県  
農業を始めたいあなたを応援します

新規就農相談会  
農業の関係機関・団体・農業法人等が一堂に会する相談会です！

2025年 11.16 日  
12:00～16:00(15:30受付終了)  
会場：沖縄県立農業大学校(教育棟)  
住所：国頭郡宜野座村字松田2982-24

当日のスケジュール

- 受付開始 12:00～
- 就農相談 12:00～
- 事例発表 13:00～14:00
- 個別相談 15:30
- 閉会 16:00

参加無料 予約不要 入退室自由

お問い合わせ  
(公財)沖縄県農業振興公社 TEL.098-882-6801

主催：沖縄県新規就農相談センター（(公財)沖縄県農業振興公社（一社）沖縄県農業会議）  
共催：沖縄県、沖縄県農業経営・就農支援センター

※沖縄県新規就農相談センターでは随時就農相談を受け付けております。

### 新規就農事例発表



#### 来場者の声：

- ・ 自分で農業を経営していくのに大変なことやアドバイスを具体的に聞けてとても良かった。
- ・ 農業を始めようというでの心構えなど参考になりました。

## (公財)沖縄県農業振興公社の農業後継者育成確保事業紹介

農業後継者育成確保事業は、次代の農業・農村を担う意欲と能力のある優れた農業後継者の育成確保を図ることを目的としている事業で、県、市町村、農業団体が出捐して造成した基金の運用益を財源としています。

当公社の農業後継者育成確保事業の中で研修生を受け入れる農家、研修生、青年農業者等が利用できる新規就農促進事業等を紹介いたします。

### 新規就農促進事業【受入農家等を対象とした事業】

#### ① 研修生受入事業

新規就農予定者を受け入れる指導農業者等(※1)に対し、研修に必要な経費の一部を助成する事業で、農業改良普及センター所長等の推薦ができるものとします。

##### (助成内容)

- 受け入れ1人につき月額5万円以内で、期間は1ヶ月以上12ヶ月以内。
- 受け入れ農家は、研修生2人までを対象とし、2人目は1人目の2分の1以内。

・当事業は、農業後継者の育成を目的としている為、就農意欲のある研修生を受け入れた農家が対象です。

(※1) 指導農業者、青年農業者、女性農業者のほか、JAの営農指導員経験者や、研修生を受け入れる体制が整っている農家も認められます。

(規模や設備、これまでの研修受け入れ実績等を総合的に勘案)

### 新規就農促進事業【研修生を対象とした事業】

#### ② 新規就農研修事業

指導農業者等(※1)において、研修を希望する50歳未満の新規就農希望者に対し、研修に必要な経費の一部を助成する事業です。研修終了後、就農が見込まれる方が対象となり、農業改良普及センター所長等の推薦ができるものとします。研修に入る前の農業経験等は、特に問いません。

##### (助成内容)

- 月額5万円以内で、期間は1ヶ月以上12ヶ月以内。1人1回限りの助成です。

・当事業は、国、県の実施する他の研修事業で給付又は助成を同時期に受けることはできません。

#### 》》》 研修生の審査基準

- 就農ビジョンと研修目的が明確であり、就農意欲が高い者であること。
- 研修の実行が確実に見込まれる者であること。
- 就農に必要な技術や知識の習得が期待される者であること。



## 【青年農業者等を対象とした事業】

#### ③ プロジェクトは場設置事業

農業経営の課題を自ら解決するプロジェクト活動を実施することに必要な経費の一部を助成する事業です。対象者は青年クラブ又は青年農業者等の組織に属し、農業改良普及センター所長等の推薦ができるものとします。

##### (助成内容)

- 10万円以内の助成とします。助成対象と認められる主な経費は、種苗代や肥料代、農薬代等消耗品費、燃料費、農地賃借料やほ場整備に伴うトラクター等使用料のプロジェクト実施にかかる経費。

※飲食等の経費は、原則として認められません。

#### ④ 農業経営・技術習得事業

県内又は県外において、生産から販売までの流通過程を通じ、安定した農業経営を目指し、視察研修を行う経費の一部を助成する事業です。対象者は農業青年クラブ等の組織に属し、農業改良普及センター所長等の推薦ができるものとします。

##### (助成内容)

- 県内5万円以内、県外10万円以内の助成とします。助成対象と認められる主な経費は、旅費、宿泊費、研修参加費。

※飲食等の経費は、原則として認められません。

##### 申請の方法

(公財)沖縄県農業振興公社農業後継者育成確保事業業務細則に定められている様式により、申請書、研修事業計画書、意見書等を「農業改良普及センター」又は「農業改良普及課」経由で、当公社へご提出下さい。

##### 助成の方法

事業終了後に、(公財)沖縄県農業振興公社農業後継者育成確保事業業務細則に定められている様式により、事業完了報告書、事業実績書、意見書等を提出し、所定の金額を請求して下さい。

》》》 **申請をする際は、お近くの農業改良普及センター又は、農業改良普及課へご相談下さい。**

#### お問い合わせ先

北部農林水産振興センター (農業改良普及課)	☎ 0980-52-2752	〒 905-0015	名護市大南1-13-11
中部農業改良普及センター	☎ 098-894-6521	〒 904-2155	沖縄市美原1-6-34 2階
南部農業改良普及センター	☎ 098-889-3515	〒 901-1115	南風原町字山川117
宮古農林水産振興センター (農業改良普及課)	☎ 0980-72-3149	〒 906-0012	宮古島市平良西里1125 1階
八重山農林水産振興センター (農業改良普及課)	☎ 0980-82-3497	〒 907-0002	石垣市真栄里438-1
公益財団法人 沖縄県農業振興公社	☎ 098-882-6801	〒 901-1112	南風原町字本部453-3 3階

## 新規就農促進事業(通称"マッチング事業")を活用した 就農までのみちすじ

就農希望段階

### STEP.1 就農相談

農業をはじめの前に農業研修を通し、実践的な作物の栽培技術または家畜の飼養技術、経営管理等の知識を学びたい方は、お近くの農業改良普及センター、農業改良普及課または、沖縄県新規就農相談センターへご相談下さい。

### STEP.2 研修生と受入農家のマッチング

新規就農促進事業の申請を希望する際は、農業改良普及センター等の面談を受け、事業実施の見通しを確認する必要があります。

研修生になる為には農業経験の有無に拘わらず、県内での就農意欲が高く、研修要件を満たしかつ農業改良普及センター所長等の推薦を受ける必要があります。

受入農家は、沖縄県知事が認定した指導農業士、青年農業士、女性農業士等があり、研修生が希望する品目、学びたい技術や知識、その他相互の相性を見極め、マッチングを行い、各条件を整えます。

### STEP.3 申請書類を作成し、農業改良普及センターまたは、農業改良普及課へ提出

マッチング後、研修生及び受入農家は、各自申請書類を作成し、農業改良普及センター等を経由し、センター所長の推薦書(意見書)を付して「研修開始30日前」迄に沖縄県農業振興公社へ提出して下さい。

### STEP.4 申請書類の適否を審査

沖縄県農業振興公社は、提出された申請書類を精査した後、後継者育成基金事業業務審査委員会を開き、予算の範囲内で、助成の適否を審査します。

審査で適当と認められた場合は、申請者に対し、農業改良普及センター等を経由して、研修支援の決定を通知します。

審査で落選した場合は、落選した旨の通知を行います。その際、研修支援を受けられませんので、ご留意下さい。

### STEP.5 農業研修スタート(1ヶ月以上～12ヶ月以内)

いよいよ農業研修がスタートします!! 受入農家(農業士)から、栽培(飼養)技術、農業機械の操作、経営管理等を実践的に学べる貴重な時間です。

自らが目指す農業経営の将来像を具体的に描き、作目、規模、販売先、労働力、機械、施設、資金調達などを検討し、就農計画を立てましょう。

### STEP.6 農業研修終了後、30日以内に完了報告書を提出

研修生及び受入農家は、各自完了報告書類を作成し、農業改良普及センター等を経由したのち、センター所長の意見書を付して「研修終了後、30日以内」又は、「研修実施年度の3月31日」のいずれか早い日までに沖縄県農業振興公社へ提出して下さい。

### STEP.7 助成金交付

沖縄県農業振興公社は、研修生及び受入農家の完了報告書類を精査し、その内容に不備がなければ、助成金を支払います。

※完了報告書が未提出、又は研修目的にそぐわないと判断される場合は、助成金を支払えませんのでご留意下さい。

### STEP.8 独立・自営就農、親元就農、農業法人へ就職し就農をスタート!

研修終了後、農業を始めたいと考えても、実際に就農するまでには幾多のハードルがあります。

農業に必要なものは何かを常に考え、農業経営者として独立就農する、親元就農する、又は従業員として農業法人へ就職する等農業者として更なるスキルアップを目指し、粘り強く頑張ってください。

就農準備段階

就農

- ≫ 研修生の審査基準(※予算の範囲内で助成の適否を審査 上記STEP.4)
- ≫ 申請する際は、お近くの農業改良普及センターまたは、農業改良普及課へご相談ください

# 就農支援に関する各関係機関

## 技術経営

### 農業の技術指導や就農するにあたっての計画作成について、指導助言

沖縄県北部農林水産振興センター	農業改良普及課	☎0980-52-2752
中部農業改良普及センター		☎098-894-6521
南部農業改良普及センター		☎098-889-3515
宮古農林水産振興センター	農業改良普及課	☎0980-72-3149
八重山農林水産振興センター	農業改良普及課	☎0980-82-3497

### 農業を本格的に学びたい方

沖縄県立農業大学校	☎098-923-2077
(本科(2年間)、短期養成科(1年間))	
(就農サポート講座(野菜・花き・果樹・肉用牛))	

## 農地

### 各市町村内の農用地の取得、権利移転等の情報提供、手続きなど

各市町村農業委員会	※各市町村へお問い合わせください
(一般社団法人)沖縄県農業会議	☎098-889-6027

### 農地中間管理機構を通じた農用地の貸借・売買について

(公益財団法人)沖縄県農業振興公社(農地中間管理機構)	☎098-882-6801
HPアドレス:	<a href="http://www/onk.or.jp">http://www/onk.or.jp</a>

## 資金

### 青年等就農資金について

沖縄県農林水産部営農支援課	☎098-866-2280
(又は上記各農業改良普及課及び農業改良普及センターへ)	
沖縄県振興開発金融公庫	☎0120-956-318

### 新規畑人資金支援事業について

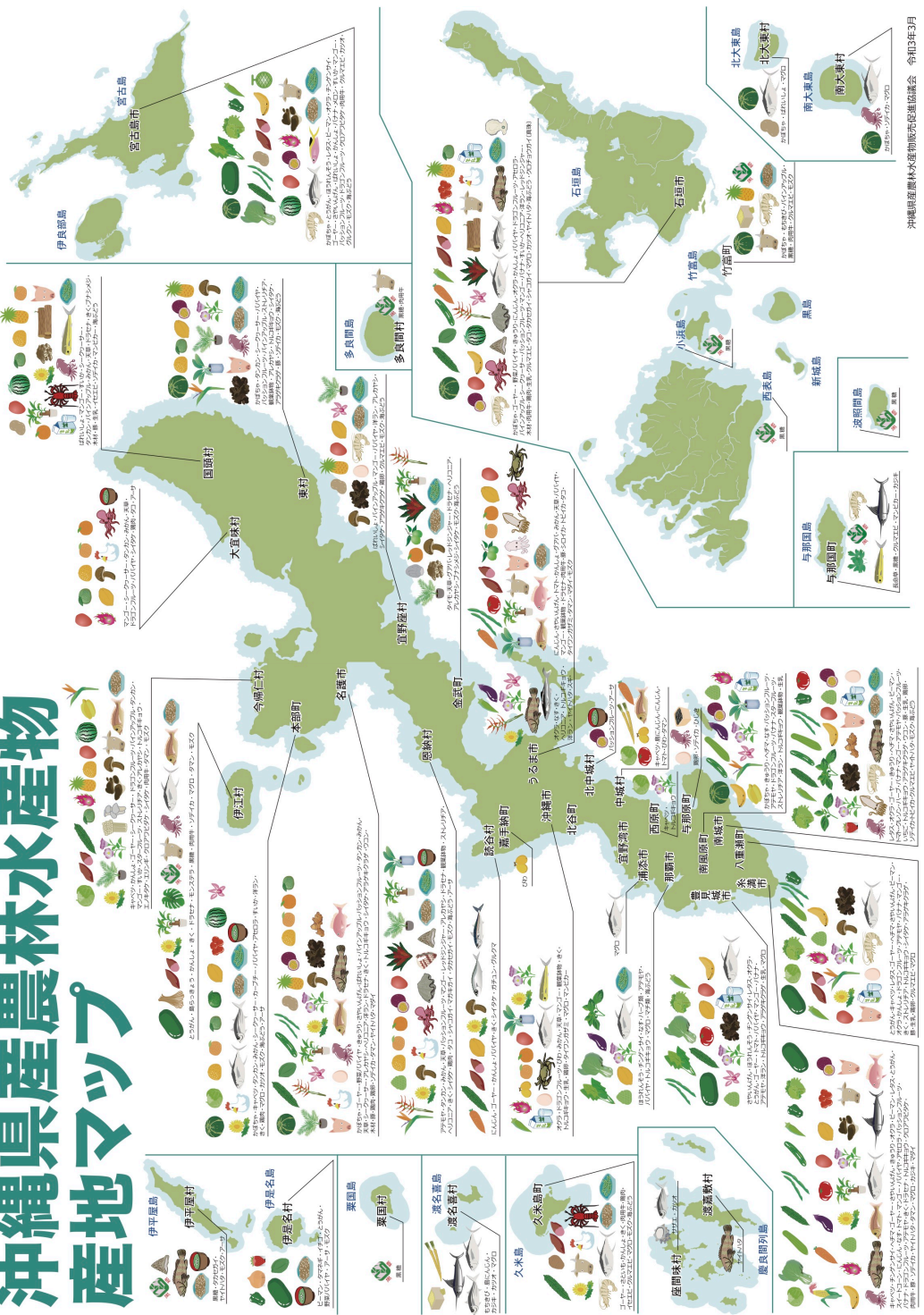
・就農準備資金: 沖縄県農林水産部営農支援課	☎098-866-2280
(又は上記各農業改良普及課及び農業改良普及センターへ)	
・経営開始資金: 各市町村窓口へ	

### ◎ 新規就農全般についての問い合わせ ◎

(公益財団法人) 沖縄県農業振興公社	☎098-882-6801
	メール: <a href="mailto:shinkisyuno@onk.or.jp">shinkisyuno@onk.or.jp</a>
(一般社団法人) 沖縄県農業会議	☎098-889-6027

沖縄県農林水産部営農支援課	☎098-866-2280
農林水産省 新規就農関連ホームページ紹介	
農業を始めたいあなたを応援します!	<a href="http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/">http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/</a>

# 沖繩県産農林水産物 産地マップ



沖縄県産農林水産物販売促進協議会 令和3年3月

## 令和7年度 新規就農事例集

令和8年1月 発行

編集・発行者 公益財団法人沖縄県農業振興公社  
 沖縄県  
 〒901-1112 沖縄県島尻郡南風原町本部453番地3  
 土地改良会館3階  
 TEL 098-882-6801 FAX 098-882-6818